



Promind

Progressive/Modern/International/Dynamic

第70期 第1四半期株主だより

2017年4月1日～2017年6月30日

TOA 株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

2017年6月22日付で代表取締役社長を拝命いたしました竹内一弘です。

2017年6月30日をもって当社第70期第1四半期（2017年4月1日～2017年6月30日）が終了いたしましたので、その事業の状況についてご報告申しあげます。

当社は、音と映像の専門メーカーとして、人々の安全・安心に寄与してまいりましたが、今後も社会に必要とされる企業であり続けることが、私含め当社に課せられた使命だと考えております。創造性のある商品を迅速に世に送り出すには、顧客や市場の声に耳を傾けることが大切です。そのために、主体性・行動力・洞察力を磨いたTOAグループの従業員と共に、ものづくりを進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましても、益々のご支援とご理解を賜りますようお願い申しあげます。

2017年9月

代表取締役社長 **竹内一弘**



事業の状況

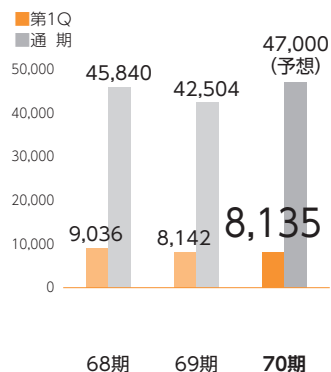
当第1四半期における当社グループを取り巻く環境は、国内では企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が継続しましたが、欧米の政治的リスクやアジアにおける地政学的リスクの

高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public 一人々が笑顔になれる社会をつくる」を実現するため、社会の安全・安心に役立てる製品やサービスの創造に注力しております。国内では交通施設や商業施設向けに多言語放送サービスの提供を開始するなど、商品ラインアップの拡充を進めております。また、海外各地域での開発・生産・販売の推進を継続し、事業拡大に努めてまいります。

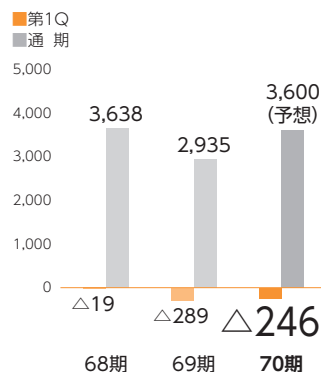
売上高

単位：百万円



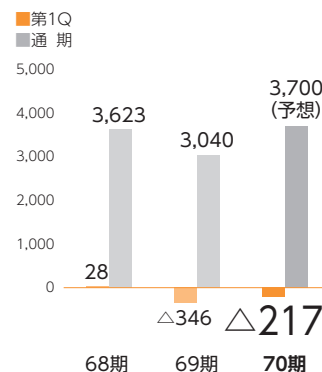
営業利益

単位：百万円



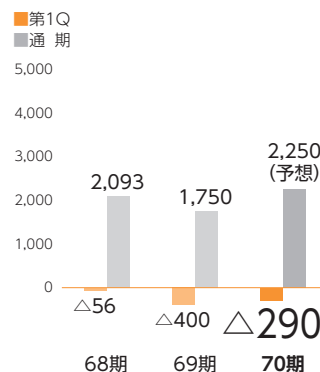
経常利益

単位：百万円



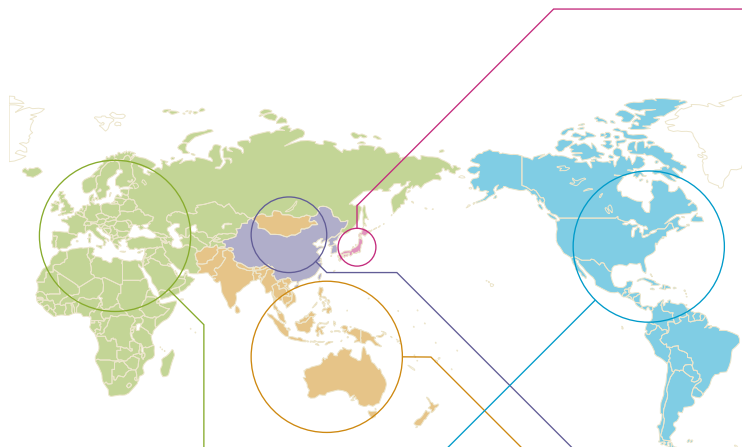
親会社株主に帰属する四半期純利益

単位：百万円



(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

地域別事業の状況



日本

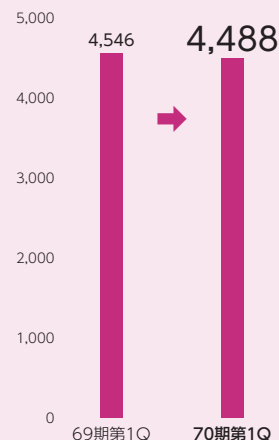


売上高構成比
55.2%

自治体向けに防災用スリムスピーカーの販売が伸長した一方、セキュリティ商品の販売が減少したことで売上高は減少しましたが、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、セグメント利益は増加しました。

売上高 **1.3%減** (前年同期比)

単位：百万円



アメリカ地域

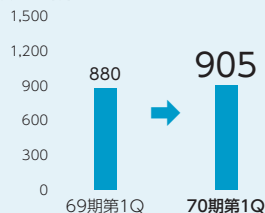


売上高構成比
11.1%

アメリカで商業施設向けに放送設備の売上高が増加しました。また、鉄道車両向けの販売も堅調に推移しましたが、原価率の上昇などによりセグメント利益は減少しました。

売上高 **2.8%増** (前年同期比)

単位：百万円



欧州・中東・アフリカ地域

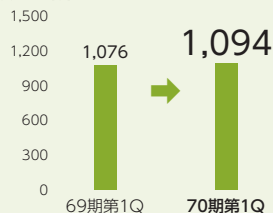


売上高構成比
13.5%

為替円高による売上高の目減りはありませんでしたが、欧州やアフリカの販売が堅調に推移し、売上高、セグメント利益は増加しました。

売上高 **1.7%増** (前年同期比)

単位：百万円



アジア・パシフィック地域

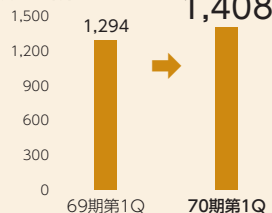


売上高構成比
17.3%

インドネシアやタイ、ベトナムでの地域商品の販売が堅調に推移しました。また、マレーシアでは商業施設向けの売上高が増加したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

売上高 **8.8%増** (前年同期比)

単位：百万円



中国・東アジア地域

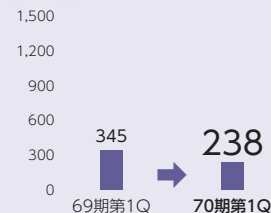


売上高構成比
2.9%

台湾では工場やオフィス向けの販売が堅調に推移しましたが、中国や香港での売上高が減少したことにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

売上高 **30.9%減** (前年同期比)

単位：百万円



(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

Close Up!

中期経営基本計画の実践現場から（国内営業）

社会の「安全・安心」を支える責務があるとの認識の中で、商品・システムのご提案や納入を継続しております。今回は、社会の「安全・安心」に向けた営業活動を担うTOAの国内営業所の活動をご紹介します。

◎減災・防災市場への提案活動

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）や東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）など各地での大きな災害の経験を経て、現在、各地の自治体が減災や防災の取り組みを進めております。その中で、当社は「広い地域へ防災情報を音でお届けすること」での貢献を目指し、商品のご提案を継続しております。

防災用スピーカー

ホーンアレイスピーカー

ホーンアレイスピーカーは、従来スピーカーより約2～3倍の音の到達距離性能を有し、避難場所となる公共施設や高台、鉄塔等に設置することで広範囲に放送できるほか、従来スピーカーの設置数を減らし、音の重なり（輪唱）状態を抑えることができます。

国内に約750基（50以上の自治体）が設置されております。（2017年3月現在）



防災用スリムスピーカー（設置イメージ）

防災用スリムスピーカー

防災用スリムスピーカーは、従来スピーカーより約2倍の音の到達距離性能を有し、明瞭性に関わる高域再生能力が高いスピーカーです。従来スピーカーではカバーできないエリアや、暗騒音（例えば、街中の喧噪など）の高い道路周辺やビル間への設置をご提案しております。

国内に約5,400本（約140の自治体）が設置されております。（2017年3月現在）

◎セキュリティ市場への提案活動

通学路の安全確保、治安の維持という社会のニーズにお応えし、監視カメラや録画装置といったセキュリティ商品も市場へご提案し、社会の「安全・安心」に貢献し続けております。最近では、商品と合わせ、ネットワークを利用した遠隔監視が可能な「遠隔見守りサービス」のご提案を実施し、さらなる「安全・安心」をご提供しております。



防犯カメラ

ホーンアレイスピーカー

TOAの国内営業所の活動について

ユーザーからの様々なご要望にお応えするため、それぞれの営業所を軸に組織力をもって対応しております。その中から、中部圏エリアを担う名古屋営業所の営業活動をご紹介します。

— 活動事例 —

自治体向けに減災・防災システムをご提案し、受注に至るまでの営業所での連携をご紹介します。

ポイントは、自治体の要望を早期に察知し、受注に向け社内で防災チームを結成し、活動を行ったことです。

チームは、営業担当とシステム設計担当、技術支援担当で編成しました。

営業担当は、自治体の担当部署への訪問活動を通じて要望を確認し、システム設計担当へスピーカーの配置などの設計依頼を行いました。その上で、ユーザーの要望に基づいてスピーカーの設置場所等の現地調査を行うなど、きめ細かなご提案が高い評価につながりました。商品の良さも含め、TOAの組織力が評価されたものでした。

セキュリティ事業においても、営業担当が定期的に得意先などへの勉強会を行うことや、ユーザーへデモ用機器を持ち込んで、技術支援担当とともにライブ映像の確認や録画装置の機能のご説明を行うなど、組織力を活かした営業を展開しております。



Interview

減災・防災システムの営業担当：上田 拓磨



▶活動を振り返ってみて感じたTOAの強みはどんなことでしょうか

まずは、TOAの「技術力」です。

目玉機器であるホーンアレイスピーカーや防災用スリムスピーカーの商品力もさることながら、音のメーカーとして培ったノウハウ・音圧シミュレーションの作成等が受注に至った要因ですので、これが一番の強みだと考えます。

2つ目は、「チームで仕事を進める」強みです。入社以来、どちらかという個人で仕事を進めることが多かったのですが、今回の案件で、メンバーそれぞれの役割と強みを活かすことで、不可能や困難な場面を打開できるということを身に染みて感じました。

▶TOAの良いところなど、株主の皆さまにお伝えしたいのはどんなことでしょうか

入社9年目に入り、TOAの営業としてひと通りは経験させて頂きましたが、それぞれの市場でやりがい・苦労が多種多様にあり、まだまだ学ぶことが多いのと、改めて考えさせられているところです。様々な苦労を経験しましたが、そんな時に、「人」が良く「人」に優しいTOAの社風に助けられたのをよく覚えています。

これからは、後輩の育成や業績への貢献で、TOAへ少しずつでも恩返しができるよう、業務を遂行していきたいと思っております。

Close Up!

▶今後の取り組み

活動事例のように、当社の強みは商品力と合わせて、音響分野で培った音響シミュレーション等の技術や、現場エンジニアリング力であると考えます。また、セキュリティ分野においても顧客のニーズに合わせ、営業と技術担当が一体となってより良い商品のご提案を行っております。今後も当社の強みを活かし、社会の「安全・安心」に貢献してまいります。

名古屋営業所の概要

- ・開 設：1959年10月
- ・所在地：愛知県名古屋市中区市場木町390（ミユキビル3F）
- ・所 員：26名
- ・担当エリア：愛知県・三重県



連結財務諸表の概要

第1四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	前期末 2017年3月31日 現在	当第1四半期 2017年6月30日 現在
資産の部		
流動資産	39,932	36,855
固定資産	14,362	14,391
資産合計	54,294	51,246
負債の部		
流動負債	7,885	5,698
固定負債	4,102	4,190
負債合計	11,987	9,889
純資産の部		
株主資本	37,683	36,986
その他の包括利益累計額	2,558	2,362
非支配株主持分	2,065	2,007
純資産合計	42,307	41,357
負債純資産合計	54,294	51,246

第1四半期連結損益計算書

単位：百万円

科 目	前第1四半期 2016年4月1日～ 2016年6月30日	当第1四半期 2017年4月1日～ 2017年6月30日
売上高	8,142	8,135
売上原価	4,542	4,574
売上総利益	3,600	3,561
販売費及び一般管理費	3,889	3,807
営業損失（△）	△289	△246
営業外収益	56	61
営業外費用	113	32
経常損失（△）	△346	△217
税金等調整前四半期純損失（△）	△346	△217
法人税等	△6	38
四半期純損失（△）	△340	△256
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	33
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△400	△290

第1四半期連結包括利益計算書

単位：百万円

科 目	前第1四半期 2016年4月1日～ 2016年6月30日	当第1四半期 2017年4月1日～ 2017年6月30日
四半期純損失（△）	△340	△256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	40
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△556	△242
退職給付に係る調整額	△19	△19
その他の包括利益合計	△665	△220
四半期包括利益	△1,005	△477
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△966	△486
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	9

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

Smiles for the Public

— 人々が笑顔になれる社会をつくる —



TOA 株式会社

〒650-0046 神戸市中央区港島中町七丁目2番1号
コンプライアンス部 Tel: (078) 303-5620 (代)
<http://www.toa.co.jp/> (日本語サイト)
<http://www.toa.jp/> (Globalサイト)



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。